

台湾の寺廟建築

正員 文部省教育施設部橋岡工事事務所 千々岩助太郎

(は し が き)

台湾が歴史的に闡明されているのは僅か300余年前までのことであって、これを高砂時代(A.D. 1623以前)・清朝時代(1684~1895)・日本時代(1896~1945)及び現在の中華民國時代に分けることが出来る。建築も亦この各時代に建築されたものに分類出来る。本稿に於ては主として清朝及び日本時代に漢民族に依って建築された寺廟建築についてその概略を述べんとするものである。

1. 台湾本来の宗教

中国本来の宗教は儒教及び道教であるが実質的にはこれに佛教を合したものが混淆融合した民族的なものである。その顕著なる例として同一祭神が儒・道・佛三教の夫々の祭神として取扱われることが屡々ある。台湾に於ても全く同例であって、殊に二百数十年前大陸より台湾に移住して来た民族は当時所謂出稼人であった關係上、何等の教養も訓練もなく、従つて新しく台湾につくられた社会或いは文化には何等の基礎もなく、その信仰する宗教も亦何等根柢ある教理等は有し得なかつたのである。その結果は素朴なる信仰の対象物として大小種々雑多な神像・伝説或いは口碑が玉石同架存在したことが想像される。

2. 寺廟建立の由来

(1) 大陸より移民の渡台

台湾が中国本土と交渉があつたのは隋・唐の時代に溯ることを得るが、漢民族が相續いで台湾に移住を企つるに至つたのは明末・清初のことである。康熙22年(A.D. 1683)7月清の領有に帰し台湾は所謂好台湾又は好東都の美名のもとに盛んに福建・広東方面の移民をひきつけたものである。この移民群が渡台するにあつて、先づ航海の難所であつた海賊の横行する台湾海峡を越えねばならぬし、幸いに海上無事渡台したのも險悪なる氣候と戦い或いは原住民の襲撃に脅かされる等、常に生活と生命との危険に直面せねばならなかつた。この事が彼等の信仰心を著しく刺戟して神仏の如護に依つて災害より免れんとして、郷土その他の有名な寺廟から神佛の香火を請うて各自が膺帶して各の護符として信仰したものである。

(2) 部落構成と祠堂の建立

移民群は夫々開墾地を求めて三々五々粗末な田舎に仮寓して郷土より携えて来た神仏の香火を朝夕禮拜していたが、漸次部落が構成されるに至つて部落共同してまごやかな祠堂が建

立されるに至った。その直接の動機としては

- a) 民家祠祭より部落祠祭と
- b) 拾得香火又は神像の祠堂祭祀
- c) 個人携行神像の

(3) 社会の成立と寺庙の建立

部落が漸次発達して今日の如き社会が成立すれば、その社会の成實には富或いは智能等に依って自ら階級を生じ各取業の分化と共に社会は自ら機能を発揮して社会活動の中心が確立されたことは自然の趨勢である。寺庙もこの時代に至れば個人又はこれに类する私的建立でなく、社会的公共的意義を有することとなり、社会的中心勢力が発議し又は賛助して建立されることになる。然もこの社会的中心は必ずしも単一でなく、同郷人、同業社、同性等各種の集団の中心が存立するので、寺庙も亦これ等の中心に依って数多建立されたのである。

例せば読書人は文昌帝君或いは王文昌と、医者は保正大帝或いは華陀仙師と、薬種商は神農大帝と祀る等種々であった。

3. 寺庙の祭神

台湾各地に散在する寺庙の祭神の種類は実に百數十に及ぶがその内寺庙の数の多いものを列举すれば次の通りである。

- (1) 福德正神 (土地公・福德育)
- (2) 王爺 (千歲爺・府千歲・代天巡狩)
- (3) 観音 (観音佛・観音佛祖・観音媽・観音娘娘)
- (4) 天上聖母 (媽祖・天后)
- (5) 玄天上帝 (北極大帝・上帝爺・真武大帝・南天先帝)
- (6) 關帝 (關帝聖君・武聖帝君・協天大帝・文衡聖帝・帝后爺・蓋天古佛)
- (7) 三山國王
- (8) 保生大帝 (吳真人・大道公・花籃公)
- (9) 有英公 (有公・金斗公)
- (10) 清水祖師
- (11) 三官大帝 (三界公)
- (12) 太子爺 (中壇元帥・李哪吒・哪叱元帥・哪叱太子・羅車太子・太子元帥)
- (13) 神農大帝 (五谷先帝・藜王大帝・南天炎帝)
- (14) 南漳聖王 (陳聖王・聖王公・威靈聖王・陳將軍・陳元光)
- (15) 大衆爺
- (16) 元帥爺
- (17) 文昌帝君
- (18) 城隍爺

- (19) 広沢尊王 (郭聖王、聖王公、郭洪福、保安尊王)
- (20) 玉皇上帝 (天台、上帝、昊天上帝、元始天尊)
- (21) 孔子
- (以下略)

4. 祭神の配属

台湾の寺廟に於て主神を唯一神のみ祀るものは極めて小規模の土地を以て除けば殆んどなく常に多々の神祇が配属寄合されるのが通例である。至るところの寺廟に於て大殿、後殿或いは左右両廂に至るまで忘持に違なき程の神像が種然としているのは是れが爲である。この主神と配属とは若干の關係を有するものもあり、又全然何等の関連もなく諸神が偶然に同居するものもある。この祭神の配属の有様を次の如く分けることが出来る。

- (1) 分神 (2) 配偶 (3) 扶持 (4) 從祀 (5) 寄社

5 台湾に於ける寺廟建築の現状

台湾に於ける寺廟は、日本領有の晩年、主として宗教的見地から盛んに療合が行われて、年々減小して行く情勢であった。筆者は昭和18年、台湾総督府文化局に具備されていた寺廟台帳を基とし、これに現地調査によって得た若干の資料を加えて次の如き分類を試みた。

(1) 創立年代に依る分類

州	西	丁	1683	1684	1741	1791	1841	1895	不詳	計
			以前	5 1740	5 1790	5 1840	5 1894	以降		
台北州			1	16	29	157	165	153	36	557
新竹州			2	7	25	91	175	111	23	422
台中州			5	74	90	253	279	98	67	866
台南州			40	131	117	255	305	122	139	1109
高雄州			14	57	52	126	119	108	9	485
三	方		11	32	28	23	47	24	13	178
計			71	317	341	905	1090	616	287	3627
比率			2	9	9	25	30	17	8	100

(注) 西丁1683年(康熙22年)即ち鄭氏が滅亡した年を第一期とし、1895年(明治28年)即ち日本領有以後を最後期としその向を約50年毎に区劃した。第一期は鄭氏時代以前の創建を意味し、最後期は日本領有後の創建である

12) 建築面積に依る分類

州	坪	0	20	21	41	61	81	100	計
			坪以下	5	5	5	5	坪以上	
			40	60	80	100			
台北州	30	268	113	53	25	13	59	577	
新竹州	15	128	78	64	46	29	72	432	
台中州	25	475	157	69	39	25	76	866	
台南州	55	570	267	112	56	37	75	1109	
高雄州	30	204	106	63	30	20	32	485	
三方	-	34	96	29	12	2	5		
計	154	1611	817	390	208	126	321	3627	
比率	4	44	23	11	6	3	9	100	

(註) 瓦物を全所有しない寺廟とは、炉主の自宅に於て祀祭するもの、他の寺若に寄祀あるもの、或いは災害に依りて倒壊したより、復旧されないもの等種々である。

6 閩帝廟の建築

閩帝は後漢の昭烈帝の密臣閩羽で本来は武神であるが、現在は次の如く各方面より信仰がある。

- (1) 武神 孔子を文聖人として尊崇すると共に閩羽は武聖人として祭祀されている。
- (2) 仏教の祭神 蓋天古佛と称せられ、人の善悪を監察するという。
- (3) 儒教の祭神 文衡聖帝と称し、文昌帝君、魁星君、朱衣神 及び 呂洞賓と共に、五文昌の一に列せられている。
- (4) 商業の神 閩夫子、閩帝君と称して祭祀される。

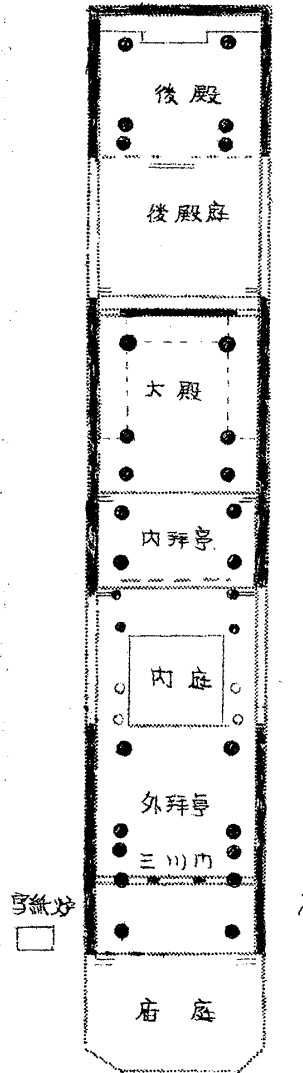
閩帝を主神とする寺廟は、台湾全島に150余あるが、その主なものは次の通りである。

文衡廟(文武廟)	台北市宣市	177坪	嘉慶20年創建	(1815)
喚醒堂	台北市宣市郡頭圍	114坪	明治29年	(1896)
武聖宮	新竹郡新莊	117坪	乾隆25年	(1760)
奉天宮	台中市中壩郡楊梅	110坪	明治41年	(1908)
慈恩宮	〃	297坪	〃 33年	(1900)
普濟堂	新竹州大溪郡大溪街	117坪	〃 40年	(1907)
訥化堂	〃 竹南郡南莊	207坪	〃 34年	(1901)
觀音堂	〃 苗栗郡苗栗	113坪	〃 43年	(1910)
閩帝廟	台中州彰化市	177坪	雍正13年	(1735)
〃	〃 李勢郡本聖街	108坪	明治35年	(1902)

文武廟	台中州能高郡深浪街	522坪	嘉慶11年創建(1806)
関帝廟	台南州台南市	125坪	雍正4年(1726)
武廟	" "	279坪	康熙29年?(1690)
文衡殿	" 北門郡將軍莊	180坪	乾隆25年(1760)
関帝廟	" 新營郡塩水街	146坪	康熙56年(1717)
龍虎堂	" 斗六郡斗南莊	210坪	明治30年(1897)
武聖廟	澎湖行馬公街	140坪	乾隆31年(1766)

マ、台南市武廟の平面(図参照)

武廟の創建は明の永暦末年と云われるがその後幾度か修復、改造が加えられているので史的価値には乏しいが、台湾における寺廟建築としてはその規模並びに構造に於て代表的なものである。(1959.1.15)



(1959)